

入院医療費の計算方法について

当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせて算定する「**D P C対象病院**」です。

基礎係数	1.0583
機能評価係数Ⅰ	0.4080
機能評価係数Ⅱ	0.1354
救急補正係数	0.0438
医療機関別係数（合計）	1.6455

令和8年厚生労働省告示第99号 別表第三（D P C標準病院群）に分類されています。

D P Cでは傷病名と診療行為によって厚生労働省が細かく定めた1日あたりの定額医療費を基に計算を行います。定額部分には、検査・画像診断・投薬・注射・処置の一部などが含まれます。ただし、手術・リハビリなどは出来高払い（行った診療行為を積み上げて医療費を算出する方法）で計算し、D P Cによって算出した医療費と出来高払いによる医療費を合算したものが医療費の総額になります。

対象となる人・・・

医療保険で入院治療を受ける方が対象となりますが、自賠責・労災・自費による入院や、回復期リハビリテーション病棟にご入院される方などは対象外となります。

※入院後、症状などの経過や診療内容によって定額部分が変更になり、**請求額が変動することがあります**。そのような場合は、月末や退院時に差額の調整を行うこととなりますのでご了承ください。

市立福知山市民病院